

平成30年度 江戸川区立葛西第三中学校 学校関係者評価報告書(学校経営計画・学校関係者評価シート)

学校教育目標	よく学び、よく考える自主性のある中学生（自発）	目指す学校像	1. 生徒が自ら考え、主体的に学び、確かな学力を身につけさせる学校
	心身ともに健康で礼儀正しい中学生（礼儀）	目指す生徒像	2. 生徒の自尊感情を育むと共に何事にも立ち向かっていく強い意志を持たせる学校
	規律と責任を重んじ、よく働く中学生（責任）	目指す教師像	3. 生徒一人一人が充実感・満足感を体感し一人一人が輝くことができる学校
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>教職員が一丸となり、落ち着いた雰囲気の中に甘んじることなく、さらに新しい課題に取り組み、学校をさらに進化させていこうという取り組みをしている。普段の授業でしっかり学力をつけ、学校行事等では生徒が主体となって運営し、充実した学校生活を送っている。部活動でも多くの部活が好成績を残し、生徒も熱心に取り組んでいる。 <課題>新学習指導要領の実施に向けて、道徳などを中心に計画的に移行を進めていく。また、読書科、特別支援教育、ICT機器の活用など、新しい取り組みにも対応していけるよう、計画的に研修していく。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		次年度に向けた改善策
			取組指標	成果指標	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・小中連携協議会 ・挨拶運動・中学校訪問の実施	・授業見学・協議会の実施 ・児童・生徒の交流	A	A	・授業見学・協議会を計画通り実施し、教員間の意見交換・意思疎通を図った。 ・年3回、各小学校にて挨拶運動を実施した。	A	新田フェスティバルなど、地域の行事でも小中学生の交流があった。	教員間の連携をさらに強化し、定期的な情報交換を行う。
	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	・ICTに関する校内研修を年3回実施	・全教員がICT機器を活用した授業を学期に1回は行う。	A	B	・校内研修を計画通り実施し、ICT機器を活用した授業の例などを示した。 ・ICTをなかなか活用できない教員がいる。	A	生徒の興味・関心を惹くような授業を進めていってほしい。	プロジェクターの導入に向け、操作方法や活用例などの研修を深める。
教員の資質向上	特別支援教育の更なる充実	「特別支援教育校内伝達研修会」等の実施による教員の指導力の向上	・伝達研修会の実施 ・特別支援委員会の実施	・特別支援委員会を中心に、巡回指導に向けて準備を進める。	B	B	・特別支援委員会を定期的に行い、生徒の情報交換などを行った。 ・来年度の巡回指導に向け、共通理解を深める。	B	様々な配慮を要する生徒に、できる限り適切な対応をしてほしい。	巡回指導をスムーズにスタートさせ、効果的な指導をしていく。
	確かな学力の向上	補習の実施や東京ベーシックドリルの活用によるきめ細やかな指導の充実と授業力の向上	・定期的な補習の実施 ・校内研究授業の実施	・全国・都学力調査で都平均を上回る。 ・年3回の研究授業の実施。	A	B	・都学力調査では若干都平均を下回った。 ・文系・理系・実技系に分かれての研究授業や、ICT活用をテーマにした研究授業などを行った。	A	授業を受けている様子はとても落ち着いている。学力をしっかり定着させる取り組みが必要。	家庭学習の充実を含め、基礎学力をしっかり定着させる工夫を検討し、実践していく。
いきいきと学ぶ教育の充実	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	・読書科の年間計画の作成・実施	・読書活動の充実 ・全学年でピリオハットを実施	B	B	・ただ読むだけではなく、読書活動を充実させるための取り組みを検討し、実施していく必要がある。 ・ピリオハットは学芸発表会でも発表した。	B	本離れが進んでいるので、読書の魅力を中学校で教えてあげてほしい。	今年度の反省を踏まえ、年間計画を改善し、さらに効果的な指導を実践していく。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・補充運動の実施 ・部活動の活性化	・保健体育の授業の最初に補充運動を取り入れる。	A	A	・保健体育の授業に意欲的に取り組み、各部活動にも積極的に取り組んでいる生徒が多い。	A	運動会でも一生懸命頑張っている生徒の姿を見ることができた。	部活動でも、より効果的な指導法を取り入れていく。
相談体制健全育成の充実	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」の3つの視点を踏まえた取組の充実	・ボランティア活動参加の奨励 ・国際理解教育の実施 ・パラスポーツの講演	・様々なボランティア活動を生徒に勧め、参加生徒を増やす。 ・外国人との交流の機会をもつ。	A	A	・なぎさや楽苑など、地域のボランティアにも参加する生徒が増えた。 ・留学生の話を聞く会やパラスポーツの講演会を実施した。	A	2020年に向けて、さらに盛り上げていってほしい。	今までの取り組みをより充実させ、2020東京オリンピック・パラリンピック大会への気運を高める。
	健全育成の充実	「江戸川っ子・家庭ルール」の推進による児童・生徒の生活習慣や情報モラル意識の向上	・江戸川っ子家庭ルール週間の取り組みの実施 ・情報モラルについての安全指導	・年3回、情報モラルについて家庭で話し合う機会を設ける。 ・情報モラルの指導を実施する。	A	A	・年3回江戸川っ子家庭ルール週間を実施し、インターネットやSNSの正しい利用の仕方について考えさせた。 ・毎月の安全指導で情報モラルについての指導も行った。	A	生徒が安心して勉強できる環境を維持してほしい。	学級活動や道徳の授業など、様々な場面で継続的に指導していく。